



第69期 報告書

2018年1月1日～2018年12月31日

Air Slider[®]

閉鎖性空間調査用ドローン



SkyManhole
IoT型水位観測システム

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃よりNJSグループに対する格別のご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。ここに、第69期（2018年1月1日から2018年12月31日まで）の事業概要をご報告申し上げます。

世界経済は、米ハイテク企業の減速や米中貿易摩擦の影響を受け、また日本経済も人手不足や外需減速が顕在化し、不透明感が増しています。一方、デジタル化・グローバル化の潮流はますます強まっています。

水と環境のインフラ事業に関しては、老朽化、災害多発、財源不足等の問題に直面しており、強靱化、環境保全、効率化が大きな課題となっています。

NJSグループは、“水と環境のConsulting & Software”をコンセプトに定め、国内外のインフラ事業に取り組んでいます。ソフトウェア事業としては、管路点検用ドローンAirSlider、下水処理シミュレーターBioWin、IoT型マンホールSkyManhole等の多くのツールを開発してまいりました。

この結果、2018年12月期は最高益を更新することができました。これにより、第69期の期末配当は1株当たり5円の増配となる25円といたしました。また来期以降も前期に対し1株当たり年間10円の増配となる50円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を切にお願い申し上げます。



代表取締役社長 **村上 雅亮**

特集1 さらなる成長に向けて

■ Air Slider®

NJSは、(株)自律制御システム研究所と共同で、下水道管路の老朽化対策を効率的に実施するツールとして、ドローンを活用した調査点検技術の開発を進めています。船型の機体構造と姿勢制御技術により、世界で初めて直径400mmの管路を安定飛行することに成功しました。

2017年4月に第1号機の試験飛行に成功し、以来、実用化に向け、実際の管路施設における検証を重ねています。またドローンの機体の開発のみではなく、通信技術、画像処理、発射台等の総合的な調査技術の構築を目標に開発を進めています。



Air Slider AS400

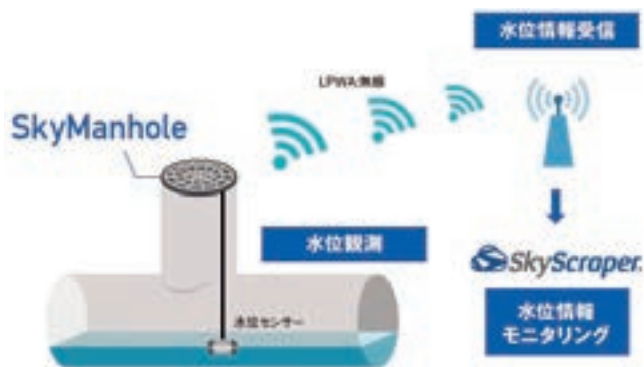
2018年期におけるAir Slider関連トピックス

時期	内容
2018年5月	横須賀市との共同研究スタート
2018年7月	下水道展'18北九州にて模擬管内飛行実演
2018年8月	第2回インフラメンテナンス大賞特別賞受賞
2018年11月	研究施設「神田ラボ」オープン
2018年12月	社会インフラテック2019にて飛行実演
2018年12月	広島市の実管路施設における飛行実証

■ SkyManhole

気候変動の影響によりゲリラ豪雨の発生とそれに伴う冠水や浸水が多発しています。NJSでは、これらの都市型浸水への対策として、LPWA通信を利用したIoT型の下水道水位観測システム「SkyManhole」の開発を進めています。

SkyManholeは電力消費が少ないLPWA通信システムを利用し、下水道管路内の水位情報を収集し、浸水状況の予測を行い、ゲートや雨水排水ポンプの予防的な運転や、住民へのタイムリーな避難情報の提供を可能にするシステムです。



■ SkyScraper®

施設の老朽化や人口減少に伴う財源不足・職員減少から、効率的なインフラ管理の重要性がますます高まっています。NJSはこれを受けて、クラウド型統合管理システム「SkyScraper®」を開発・提供してきました。

2018年期においては、AIを用いた解析・診断機能「SkyScraper ML」の開発に取り組みました。また、左記のAir SliderやSkyManholeの開発を受けて、ドローンが撮影した管内画像・管内動画を解析する「SkyScraper CV」や、下水の水位をモニタリングするIoTプラットフォーム「SkyScraper RI」もラインナップに加え、更なる機能の充実を図っています。



SkyScraper®シリーズ



SkyScraperRIによる水位観測画面

■ BioWin

BioWinは、カナダEnviroSim社開発の世界で最も利用されている下水処理プロセスシミュレータです。NJSは2017年11月にEnviroSim社と日本における独占販売代理店契約を締結し、BioWinの国内販売とBioWinを活用したコンサルティングサービスを展開しています。

2018年9月には、京都市上下水道局及び京都大学との3者で、BioWinを用いた下水処理施設の最適運転管理に関する共同研究をスタートしました。この研究ではシミュレーションにより、夏季や雨天増水時等の処理水質の安定化やエネルギー消費の最適運転モデルを検討します。



BioWinを用いた詳細な処理プロセスシミュレーション



下水処理の各プロセスを動的に解析（イメージ）

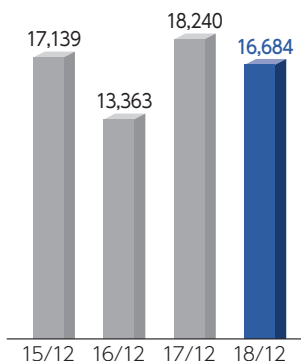
財務ハイライト

当社は、「水と環境のConsulting & Software」を事業方針に掲げ、コンサルティングとソフトウェアの両面から水インフラの効率化を推進しております。

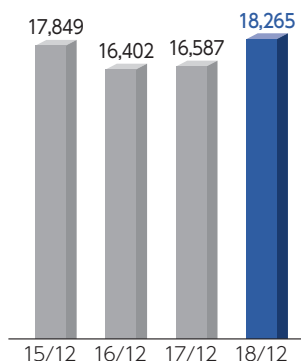
当期の連結受注高は、16,684百万円(前連結会計年度比8.5%減)、連結売上高は18,265百万円(同10.1%増)となりました。

利益面では売上増と生産性向上の取り組みにより、営業利益は2,887百万円(同133.0%増)、経常利益は2,893百万円(同132.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,927百万円(同171.3%増)となりました。

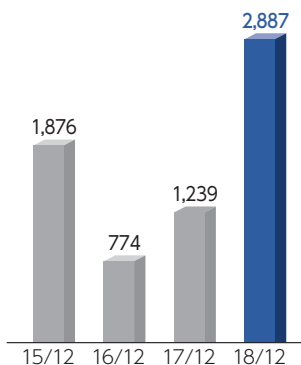
受注高(百万円)



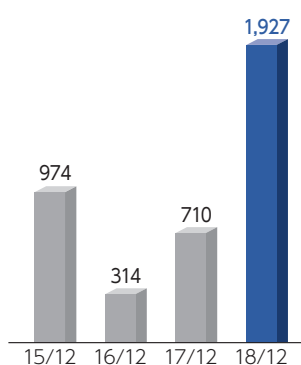
売上高(百万円)



営業利益(百万円)



親会社株主に帰属する
当期純利益(百万円)



特集2 NJSのCSR活動

■ワークライフバランス

2018年6月に働き方改革関連法案が成立し、企業における働き方の見直しが求められています。

NJSは2013年から、社内にワークライフバランス推進委員会を設置し、全社を挙げて働き方改革を進めてきました。モバイルワーク等の多様なワークスタイルへの対応、長時間労働の解消、意識改革による業務の見える化・効率化等に取り組んでいます。

NJSのワークライフバランス推進活動

多様なワークスタイル

- 在宅勤務
- サテライトオフィス
- モバイルワーク

長時間労働の解消

- ノー残業デー・深夜残業禁止
- 積立有給休暇制度
- 育児・介護休業の充実

ワーク意識の改革

- カエル会議(部門)
- ・・・ツナグmeeting・・・(全社)
- NJSめりはり・いきいきブログ

NJSは仕事と子育ての両立を支援する企業として、2019年2月に、くるみん認定を取得しました。



■ 障害者雇用の促進

NJSは、国の障害者の自立支援と雇用促進策に対応し、ダイバーシティ経営の推進として、障害者が安心して働くことができる職場づくりを進めています。

このため、各事業所において障害者を積極的に採用すると同時に、千葉県柏市に農園「ウェルファーム柏」を開設し、障害者雇用の促進をしています。

ウェルファーム柏では、ハウス内で溶液栽培によりレタスや小松菜などの野菜を安全で衛生的に育てています。ここで収穫した野菜はNJSの全国の事業所に出荷・配送し社員に提供しています。



農園での作業の様子



順調に成長する野菜

■ 健康経営の推進

NJSは、社員が健康で意欲をもって仕事にのぞむことが事業の原動力になるとの考えのもとに、健康経営を推進しています。スポーツなどの健康増進のほか、健康診断、重病化予防、職場環境改善に取り組んでいます。



社内のスポーツ同好会の活動も支援しています

上記の取り組みが評価され2019年2月に、健康経営優良法人2019(ホワイト500)に認定されました。



役員一覧

代表取締役社長 村上 雅亮

常務取締役 土田 裕一

取締役 遠藤 裕邦

取締役 田中 亮

取締役 秋山 暢彦

取締役 吉原 哲二

取締役 谷戸 善彦

取締役 山田 雅雄

取締役 小幡 康雄

常勤監査役 安田 伸一

監査役 豊口 直樹

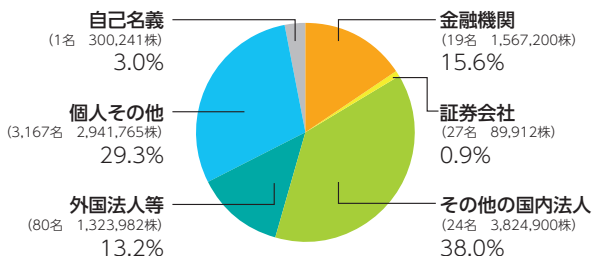
監査役 増渕 智之

株式の状況(2018年12月31日)

株式の状況

- 発行可能株式総数 …………… 32,000,000株
- 発行済株式総数 …………… 10,048,000株
- 株主数 …………… 3,318名

所有者別株式数分布状況



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本ヒューム株式会社	3,420,000	35.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	685,600	7.0
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	472,000	4.8
株式会社みずほ銀行	248,000	2.5
株式会社ジェー・イー・シー	184,000	1.9
N J S 社員持株会	173,800	1.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	168,400	1.7
KBL EPB S.A. 107704	114,600	1.2
SANTANDER SECURITIES SERVICES, S.A./IICS CLIENTS	104,000	1.1
明治安田生命保険相互会社	96,000	1.0
自己株式	300,241	—

会社概要(2018年12月31日)

社名	株式会社NJS
創立	1951年9月
資本金	5億2,000万円
従業員数	737名(連結) 477名(単体)
証券コード	2325

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで	
定時株主総会	3月中	
基準日	定時株主総会の議決権	12月31日
	期末配当金	12月31日
	中間配当金	6月30日
単元株式数	100株	
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部	
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	
	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先	お取引先の証券会社等となります。	0120-288-324(フリーダイヤル)
各種手続きお取扱店 (住所変更、株主配当金 受取方法の変更等)		・みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所 ・みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります。)	
公告の方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 https://www.njs.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。	



〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目1番1号
TEL : 03-6324-4355 FAX : 03-6324-4356
ホームページ <https://www.njs.co.jp/>



GREEN PRINTING JFPI
P-A10007